

事業所名

児童デイサービスらびす

支援プログラム

作成日

令和6年

9月

1日

法人（事業所）理念		一人一人が豊かな人生を歩むための支援をします。									
支援方針		利用者（児）とその家族及び地域で生活する人々が共に地域で生活できる環境や支援体制を築くことを目指します。									
営業時間		10	時	分から	18	時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	送迎範囲あり
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	○基本的な生活スキルの獲得：食事、排せつ、睡眠、身の回りを清潔にすることなどの生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、視覚的なカード提示や一日の流れの把握、声をかけるなどの工夫を行いながら、利用者の状態に応じて適切な時期に適切な支援をしていきます。 ○構造化等による生活環境の工夫：生活の中で、様々な遊びや体験を通した学びが促進されるよう、時間や空間を利用者に分かりやすく予定表にしたり、活動場所を目的ごとに区切るなど特性に応じた支援をしていきます。									
	運動・感覚	○指先トレーニング：個別での療育の中で、つまむ・まわす・入れるなどねじやビーズ、ひもなどを使って機能が向上していけるように支援をしていきます。 ○感覚の特性への対応：感覚過敏や聴覚過敏などのそれぞれの感覚に対応し、環境を調整したり、イヤーマフや療育に使用する物の素材の工夫をしていきます。									
	認知・行動	○社会生活に必要な基本的な読み書き・計算のスキルの獲得：個別での療育の中で具体物を使ったり、プリントなどを使って支援をしていきます。また、ポイントためて買い物や食事にでかけて実践から金銭感覚の習得を目指します。 ○小集団でのゲームを通して適切な行動や順番、時間的な切り替えができるよう視覚的な提示をしながら支援をしていきます。									
	言語 コミュニケーション	○その場に合った適切な言葉づかいや表現の仕方をワークシートやコミック会話、ロールプレイなどを通して支援していきます。 ○個別での療育の中で、一日の振り返りをしたり、自分の思いを言葉で表現できるよう継続的に支援していきます。 ○語彙や言葉の表現の幅を増やしていけるよう普段の療育の中で話しかけたり、やり取りの中で表現を直接伝えるなど実践を通して支援していきます。									
	人間関係 社会性	○SST(ソーシャルスキルトレーニング)を継続して学ぶ中で、相手の気持ちや遊びの中や友達関係の中にルールがあることを理解できるよう支援していきます。また、ルールある遊びの中で、協力することや連携することを学ぶ機会をもてるようにしていきます。 ○信頼感をもって安定して過ごせるように、不安な気持ちや困ったときに相談して自分で感情調整ができるよう寄り添った支援をしていきます。									
家族支援		○ご家族が安心して子育てを行えるように、ご家族（兄弟を含む）と日頃から信頼関係を構築し、障がいの特性に配慮し丁寧な家族支援をしていきます。 保護者面談、送迎時や連絡帳を通して困りごとや現在の情報共有を行い不安や負担の軽減につながるよう支援していきます。				移行支援		○卒業後の生活を見据えて、様々な福祉サービスについて情報提供を行います。卒業後の進路先への情報提供を行います。			
地域支援・地域連携		○各学校の先生方と日々の子どもの状態を共有していきます。また、必要に応じて支援会議を開催するなど常にお子さんを中心にした連携を心がけていきます。				職員の質の向上		○法人、事業所内での支援に関する研修を定期的に行っています。 ○あおいそらによるコンサルテーションを行い、支援のアドバイスや指導をしていただき、日々の支援に生かしていきます。			
主な行事等		○季節の行事、制作・調理活動、買い物学習、保護者茶話会などを行っています。									